

全国銀行の平成 25 年度中間決算の状況(単体ベース)

<要 旨>

1. 経常利益

経常収益は、国債等債券売却益の減少により、その他業務収益が減少したものの、資金運用収益が増加したことや、投資信託販売手数料等の増加により、役務取引等収益が増加したことに加え、貸倒引当金戻入益や株式等売却益の増加により、その他経常収益が増加したことから、8兆2,020億円（前中間期比3,638億円、4.6%増）となった。

経常費用は、資金調達費用が減少したほか、株式等償却や貸出金償却の減少により、その他経常費用が減少したことから、5兆5,501億円（同7,071億円、11.3%減）となった。

この結果、**経常利益**は、2兆6,518億円（同1兆709億円、67.7%増）と2年ぶりに増益となった。

2. 中間純利益

中間純利益は、1兆7,932億円（同6,190億円、52.7%増）と3年ぶりに増益となった。

3. 業務純益

業務純益は、2兆3,530億円（同3,736億円、13.7%減）と2年ぶりに減益となった。

(注) 平成 25 年度中間決算における**全国銀行**とは、都市銀行 5 行(みずほ、三菱東京UFJ、三井住友、りそな、埼玉りそな)、地方銀行 64 行、地方銀行Ⅱ（第二地方銀行協会加盟銀行）41 行、信託銀行 4 行（三菱UFJ信託、みずほ信託、三井住友信託、野村信託）、新生銀行、あおぞら銀行の 116 行である。